

地域の自立的な発展に向けて農業が果たす役割が予想以上に大きくなってきていることを感じます。健全な食の生産という営みから、国土の環境管理、魅力ある空間づくり、景観創出によるツーリズム、さらにエネルギー生産と、農業の責務は着実にその重みを増してきているようです。しかし、それが国民にどこまで理解されているのでしょうか。食への信頼を醸成するためにも、住民、消費者が直接農業に向き合って考える機会を持つことが大切でしょう。(S.K.)

これまで農業は常に守られているという印象でした。でも、守るべきところは守り、市場と向き合うべきところは消費者と対話する。そうした積み重ねがあると感じました。日本の中で北海道農業はいろいろな意味で特異な存在。優位性をうまく発揮し、北海道の元気の素になってほしいと思います。(M.S)

●「マルシェ:marché」とはフランス語で市場のことで、同音の「マルシェ:marcher」には歩む、行進する、進歩するという意味もあります。北海道(ノルド:nord=北)が、多くの人々が集い、交流し、活気あふれる地域へ発展するようにとの願いを込めて、「開発こうほう」の地域経済レポート特集号として「マルシェノルド」(年二回、九・三月号を予定)をお送りします。地域を考えるきっかけとなるように、毎号、地域経済特有のテーマを取り上げてまいります。

●理解を深めるために……

Books

※インタビュー

『現代日本の農政改革』

生源寺眞一著/東京大学出版会

『よくわかる食と農のはなし』

生源寺眞一著/家の光協会

『ふるさと資源の再発見』

林良博・高橋弘・生源寺眞一著/家の光協会

※地域事例1

『北海道酪農の生活問題』

河合知子著/筑波書房

『草地型酪農の21世紀展望』

荒木和秋・須藤純一編著/酪農学園大学エクステンションセンター

『地域資源を最大限に活用し豊かな酪農郷を築く』

J A 浜中町

※地域事例2

『北海道の米づくり 2001年版』

北海道・(社)北海道米麦改良協会

『北海道のお米』

ホクレン農業協同組合連合会・北海道米販売拡大委員会・北海道もち米団地農協連絡協議会

『Rice Land Hokkaido ごはん大陸』

ホクレン農業協同組合連合会・北海道米販売拡大委員会

『きらら397 誕生物語』

佐々木多喜雄著/北海道出版企画センター

『北の大地から 北海道の農業は元気です』

西村一郎著/コープ出版

※寄稿

『21世紀の日本を考える No.37 国産バイオ燃料の実現を!』

「21世紀の日本と農業・農村を考えるための行動」事務局編/(社)農山漁村文化協会

『日経4946 File 47号』

日本経済新聞社販売局宣伝部

●マルシェノルド バックナンバー

- 第1号 「地域経済の自立に向けて」(99年9月25日発行)
- 第2号 「北海道ツーリズムを考える」(00年1月25日発行)
- 第3号 「都市と商業」(00年6月25日発行)
- 第4号 「循環型社会を目指して」(00年10月25日発行)
- 第5号 「地域とアート」(01年2月25日発行)
- 第6号 「地域とIT」(01年6月25日発行)
- 第7号 「北海道の食産業を考える」(01年10月25日発行)
- 第8号 「NPOのあり方考える」(02年2月25日発行)
- 第9号 「北のものづくり」(02年8月25日発行)
- 第10号 「地域経済の自立的発展と観光産業」(03年2月25日発行)
- 第11号 「地域景観とまちづくり」(03年8月25日発行)
- 第12号 「地域と大学」(04年2月25日発行)
- 第13号 「北海道らしいエコツーリズムを考える」(04年8月25日発行)
- 第14号 「地域ブランドの時代」(05年2月23日発行)
- 第15号 「地域と医療」(05年8月25日発行)
- 第16号 「北海道発 産消協働」(06年2月25日発行)
- 第17号 「地域とスポーツ」(06年8月25日発行)
- 第18号 「地方都市の再生」(07年2月25日発行)

●開発こうほう / 地域経済レポート特集号 | KAIHATSUKOHO Regional Economic Report

マルシェノルド

●ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

(財)北海道開発協会 広報研修出版部

〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目 セントラル札幌北ビル

TEL: 011 (709) 5212 E-mail: pr@hkk.or.jp

開発こうほう 第530号 平成19年8月24日

発行 (財)北海道開発協会

編集協力 釧路公立大学地域経済研究センター

印刷所 (株)須田製版 不許複製

<http://www.hkk.or.jp/>